

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	須木地区	担当班	議員名	担当
参加人数	11人		高野 良文	司会進行
開催日	平成30年7月20日(金)		杉元 豊人	活動報告
開催時間	午後7時30分～午後9時		穴見 嘉宏	記録・報告書作成
会場	ふるさとセンター		鎌田 豊数	記録・報告書作成
その他		4班	西上 隆	会場準備・受付

◎班代表者 杉元 豊人

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
テーマ	「外出しやすいまちづくり」・「観光で稼ぐには」		
【意見交換の概要】			
<b>テーマ：外出しやすいまちづくり</b>			
□内山地区の福祉バスの運行状況と今後も継続されるのか。			
■平成29年度は、年間で児童等が95人、高齢者・一般が11人。当局によると内山線は今後も継続されるが、より効率的な方法がないか協議中とのことであった。			
□上九瀬線のコミュニティバスは、料金が下がり利用者は増えているが、鳥田町や堂屋敷などバスが通っていない地域の人には、交通手段がないので免許証の返納もできないという。このようなことは議会では議論されているのか。			
■一般質問や委員会の場で、対策や方法について当局に要望・提案している。			
□コミュニティバスは時間帯が合わないから利用が少ないのではないかと。日曜日の便数も少ない。アンケート調査をした方がいいのではないかと。			
■状況をしっかり把握するためには調査は必要である。当局に伝える。			
<b>テーマ：観光で稼ぐには</b>			
□ウオーターフロント事業では地域おこし隊が頑張っているが、PRが不足しているのではないかと。			
■イベントを多くして須木の自然の良さをもっとPRした方がいいと思っている。当局に積極的に情報発信するよう伝える。			
□小野湖の活用については綾町にも協力を求めるべきだ。			
■綾町は小林・須木との観光交流を図りたいと考えているようだ。今後、須木区がどのような観光の推進をしていくのかが課題ではないかと。			

## 自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□リサイクルの簡素化についてはどのように考えているか。

■処理が困難なプラスチックごみについてはリサイクルの方法を見直す方向で当局が検討している。

□子どもの医療費の助成はどうなっているのか。

■医療費の助成は中学生（15歳）まで拡充することとなった。

□診療所には小児科がない。子供が病気になったとき須木で見てもらえる体制を作ってほしい。

□産婦人科だけではだめで小児科との連携が必要である。夜間の診療・入院ができる体制を構築すべきである。

■小児科については大変厳しい状況である。継続して当局に訴えていく。

□教師の負担を考えると学校での部活動の制限をした方がいいのではないか、また地域ぐるみで支援をすべきではないか。

■部活動指導員を外部から確保し教師の負担を軽減する方法を試行的に行うことになった。

□軍谷トンネルは平成28年に補修されたが大丈夫か。山林の伐採もあり心配している。

■県土木事務所の見解：水漏れ対策工事は完了し健全な状態を保っている。7月中旬に区長さん立会いのもと、説明し確認してもらい安心してもらった。

□男子雇用型の企業の誘致をして税収アップを図るべきである。

■人手不足が企業誘致に暗い影を落としている。地元の既存の事業所の支援など幅広い経済振興対策の必要性について、議会でも議論を重ね当局に要望提案している。

□野尻のフロンティア荘のような空き家の活用をするべきである。

■すぐに使える空き家がなく、今のところ空き家を探しているという段階である。

□子育て世代へのアンケートの内容を見ると大変参考になる。小林市では何が大事なのか考えて議論してほしい。

■各PTAに事前にアンケート調査し、主な意見を掲載した。このような意見をもとに、今後議会でしっかり議論していく。